Anchor's PERSON

株式会社 ハウス・リペア
代表取締役

沓掛 安宏

一般住宅や店舗などの補修工事を専門に手掛ける『ハウス・リペア』。
同社が提供するのは見た目の美しさだけではない。
建物にまつわる顧客の思い出を損なわず、
守り、未来に紡いでいくことも大切な仕事の一つだ。
「古い建物だから、取り替えたくないからと諦めてほしくない」と沓掛社長。
優れた技術力と経験で、自分たちにしかできない仕事を続けていく。

「お客様の大切な思い出も守ること。それこそが補修工事の醍醐味です」

© 2019 HOUDOU-TSUSHINSHA Co.,Ltd.

思い出はそのままに 住まいを美しく補修する匠

熊本を拠点に、家族の思い出が溢れる住まいや店舗についてしまった傷などを補修する専門業者『ハウス・リペア』。低価格と短時間を強みに、フローリングや建具といった木部補修から、アルミサッシや水切りなどのアルミ補修にも対応し、地域に欠かせない存在となっている。本日は野村将希氏が、同社の沓掛社長のもとを訪問。これまでの歩みや事業に懸ける想いなど様々なお話を伺った。

株式会社 ハウス・リペア
熊本県熊本市中央区帯山 1-25-15 U ビル 2F
URL：http://house-repair.co.jp/

――『ハウス・リペア』さんでは住まいの補修工事を専門に行っておられるとか。まずは沓掛社長のこれまでの歩みからお聞かせ下さい。

中学生のころから卓球部に所属して、青春の全てを部活動に注ぎ込みました。その楽しさを少しでも長く味わいたくて、将来は教師になって卓球部の顧問をしようと考えていましたね。ただ、家庭があまり裕福でなかったため、大学は新聞奨学生として進学。新聞の配達に追われてなかなか教育実習に行けず、夢を諦めざるを得なくなり、他の職種に目を向けるようになったんです。

――様々な職種がありますが、なぜ補修工事のお仕事を選ばれて？

就職活動中に参加した合同説明会後の懇親会での出会いがきっかけでした。たまたま隣り合わせた方が人事担当者で、その方は自分の会社の話を一切せずに、就活で悩んでいた私の相談をただずっと聞いて下さったんです。そして後日、合同説明会に参加した時に、再びその方と出会い、その方が勤めているのが補修工事会社であることを初めて知りました。そのブースで、綺麗に補修されたサンプルを見せていただいた時は、「こんなに素晴らしい仕事があるのか」と衝撃を受けましたね。それでそちらの会社を受け、採用していただいたことが補修工事に携わるきっかけでした。

――その出会いがなければ、今こうして補修工事業で起業してはいなかったでしょうし、良いご縁を得られましたね。実際に携わってみていかがでしたか。

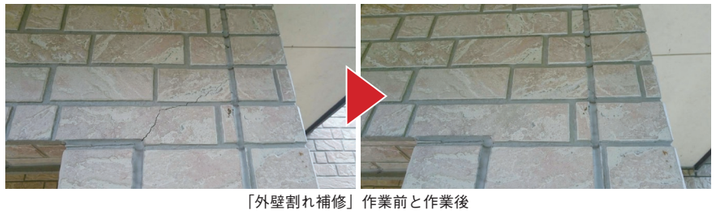
お客様が「これは無理だろう」と感じておられるような傷を補修して、「こんなに綺麗になるとは思ってなかった。ありがとう」と言っていただけるのはとてもやりがいがありましたね。最初は大阪に配属され、その後は熊本に事業所を立ち上げることになり、発足メンバーとして熊本に異動。経営を軌道に乗せるまでの貴重な経験をさせていただきました。その後もさらに各地に転勤する中で、自分が理想とする会社を経営してみたくなったことや、将来的には長男である私が両親の生活を支えるため、より収入を得られればという思いから独立を決意。勤務先の方々も背中を押して下さったことから、勤務先の協力会社として当社をスタートしました。

――詳しい事業内容をお聞かせ下さい。

個人住宅や店舗についてしまった傷の補修を専門的に手掛けています。補修するものも様々で、フローリングや建具、建具枠などの木製品から、アルミサッシや水切りといったアルミ製品、サイディングという外壁材などを補修しています。さらに各所のシート貼り替え、塗装、床鳴りを防ぐ工事にも対応可能です。

――このお仕事の魅力はどんなところにありますか。

当社が行っているのは、部材の大掛かりな取り替えを行うリフォームではなく、部分的に手を加えて補修する仕事ですから、その建物のこれまでの形が損なわれることがなく、そこで過ごした思い出までも守れることでしょうか。「扉など簡単に交換できるものではないから直すのは無理だろう」「思い入れがあるから交換せずに我慢して使い続けよう」「リフォームにかけるお金も時間もない」と諦めておられる方が意外と多いです。ですが、部分的な補修だからこそ皆さんが考えておられる以上にお安く済みますし、お時間もかかりません。ですからぜひ一度、当社にご相談いただければと思います。


「外壁割れ補修」作業前と作業後

「床剥がれ補修」作業前と作業後

「床柱補修」作業前と作業後

――思い入れのある建物を損なわずに直してもらえるのは嬉しいですね。ただ、何十年と住み続けたあまりに古い建物だと、補修も難しそうですが……。

確かに床柱の補修一つとっても、昔と今とでは高さの基準が違って、掘り込み跡が見えてしまうといった場合がありますね。ですが当社ではその掘り込み部分だけを補修し、美しく仕上げることもできますから、経年数で諦めないで下さい。

――頼もしいですね！　これからも多くの方々の住まいと思い出を守り続けていって下さい。

（2019 年 4 月取材）

column 心のふるさと・熊本を拠点に

▼引っ越しの多い幼少期を過ごし、社会人になってからも各地を転勤した沓掛社長。そんな社長が起業の地に選んだのは熊本だった。

▼「補修工事会社の社員として各地を転勤した中でも、熊本は自分にとって特別な土地。起業をするならここと決めていました」と社長。熊本事業所設立の初期メンバーとして経営を軌道に乗せる貴重な体験を重ねるうち、土地の顧客や取引先企業と固い信頼関係で結ばれるようになったと当時を振り返る。熊本に来る前、配属された大阪では、社長は顧客に社名で呼ばれていた。しかし熊本では皆が社長を「沓掛さん」と名前で呼んでいたという。「会社ではなく、私を一個人として見て下さっていて、とても嬉しかったのです」と語る。その信頼に応えるべく、再び熊本で新たなスタートを切った。それまで現場一筋だったところから、自身で営業も担うなど苦労も経験したが、熊本の人々と前勤務先に支えられ、一歩一歩確かな歩みを進めながら成長を続けている。

「補修工事の技術を磨き、独立起業を果たされた沓掛社長。スタート後もお世話になった前勤務先と良好な関係を続けておられ、『いつも支えて下さって本当に感謝しています』と語っておられました。周囲への感謝の気持ちを忘れず、直向きに努力を続ける社長なら、今後もさらに会社を成長させていかれることでしょう。私も陰ながら応援していますよ！」　野村 将希・談

© 2019 HOUDOU-TSUSHINSHA Co.,Ltd.